

2019 年度 第 3 回就労支援部会 議事録

【開催日時】 2019 年 12 月 5 日（金）15:30 ～ 16:30

【場 所】 ぴあリンク奄美 2 階会議室

【参 加 者】 登山（なかぼつ）、田中（あまみん）、牧（龍郷町）、豊（カナン工房）、村田（ユーアイ工房）、堀（あしたば園）、富田（ていだ）、保（あおぞら）、池田（徳洲会）、中野（共生園のころ）、斎藤（共生園）、野口（steady&Co）、松井（滝の園）、永吉（大島養護）、加藤（奄美共生園）、大野（こころ）、得田（すまいる）、福崎（ぴあリンク奄美） 敬称略

合計 18 名

【議題】

◎進行：登山 ◎記録：福崎

1. 自己紹介

2. 行政から

◎奄美大島地区の「農福連携」に関する協議について提案（龍郷町）

・説明及び質疑応答

町議会で議員より農福連携について質問があった。

農業を就労支援としてやっている事業所から課題や行政に対する要望を聞きたい。

◎メリット・デメリットについて（10分程度、検討）

・栽培した後の販路をどう確保するか。

・知識と技術が追いついていない状況もあるため、農林課などから、ピンポイントで指導してもらえたら。

・近所の農家の手伝いをしている。農家の理解があれば手伝うことができる。6次産業につなげることができる（アイスクリーム製造等）

・農地取得が難しい。（投資額、取得の方法、規模など）

・入所施設でいろいろ作っている。町村内の会社から、サトウキビ管理を依頼されている。トマトなど病気が入ってしまったとき、難しい状況もある。

・利用者さんが農業を好きで集まっている人も多く、スムーズに入ることができる。事業所の時間で働くことや、夏の暑さで仕事ができないこともあった。設備投資の補助等があればよいのではと考えている。（台風が怖い）

・市町村に農業指導員がいる。指導は可能。

・補助金は、自分の土地はでないが、耕作放棄地にはできると聞いている。

・農福連携の補助金でも、行政と一緒に相談に乗っていただけると、信頼関係が増すのでは？

・権利関係で迷うこともある。（また貸し、他人の土地、など巻き込まれないように注意が必要）

・農業の難しさはわかるが、安定供給できれば、公の給食等で活用できることも検討したいが、品質の向上や仕事の質を上げられるような取り組みを。

・福祉だけではなく、農水の担当も巻き込んでいきたい。

・勉強会なども検討してはどうか。（同じテーブルで話せるようにしていきたい）

・学校が送り出す側として、どんな力をつけてほしいか教えてほしい。

→基礎体力はつけていてほしい。土、水が好き（自然が好き）だと支援につなげやすい。

- ・ 半日でも、作業に取り組めるようにしてほしい。
- ・ 園芸班などを経験することで、自身にはつながっている。

3. 議題（事前にいただいた議題について）

① 相談支援事業所との情報共有について

・ できるだけ共有する。（本人が伝えたくない情報に関しても、出来るだけ共有できるよう本人を説得する）

② 「共通認識」への対応について

・ ルール上、相談支援事業所に連絡するということはしているが、相談支援事業所と、事業所が行かせないよう

にしているという状況もある。

- ・ 気になる事業所があったら、体験に行ってもらっている。
- ・ 要望にはできるだけつなげることで、落ち着くことが多いように感じる。
- ・ 相談支援につなぐ前に、今所属している事業所の職員から声掛けしたりする。
- ・ 一緒に事業所を探してあげるくらいの気持ちでいればいいのではないか。
- ・ 仕事が合わない場合は、調整する。

4. その他（事務連絡等）

- ・ 今年度の部会運営について

（時間超過のため、メーリングにてアンケート実施予定）